

有賀一郎旧蔵資料を大学文書館で受贈

5月11日（木）、有賀典子氏より、有賀一郎氏（1892-1942）の旧蔵資料を大学文書館にご寄贈いただきました。

有賀一郎氏は、1911（明治44）年東北帝国大学農科大学附属大学予科に入学し、1914（大正3）年農学科第一部に進学、同学科を1917（大正6）年に卒業しました。卒業後は、合名会社鈴木商店・米星産業株式会社に勤務し、煙草事業の発展に尽力されました。

この度、ご寄贈いただいた資料は、農学科第一部在学時（1914～1917年）の受講ノートが7冊、大学予科時代に詠まれた和歌が収録されている歌集

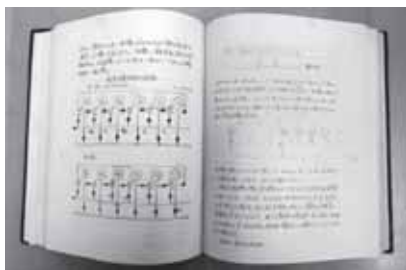
『櫻園家集 萩の葉風』（1943年）、戦前期の絵はがき378枚などです。

受講ノートの内容は、「農業経済学」「農政学」「畜産学」「家畜飼養学」「農産製造学」「畜産製造学」「作物学」「土壌学」「応用菌学」「肥料論」「農具論」「土地改良論」「特用作物」「経済学原論」など、農学科の講義を受けて、清書されたものです。大学ノートが1～4冊ずつまとめられて製本されており、当時配布されたプリントも整然と貼付されています。鈴木商店罫紙が所々に挟み込まれていることから、これらの受講ノートは卒業後も参照されていたことがうかがわれます。

また、戦前期の絵はがきは、67枚が書簡として使用されています。同窓生や会社関連の人々から差し出された絵はがきには、台北・大連・京城など、外地の絵柄のものが含まれています。その一方、札幌在住の弟の有賀梧楼氏からは、北海道帝国大学や札幌市街の風景がわかるような絵柄が選ばれて使われています。

今後、ご寄贈いただいた資料は、大学文書館において大切に保管し、閲覧・展示などを通じて広く紹介してまいります。

（大学文書館）



受講ノート「畜産製造学」



戦前の絵はがき（左上から反時計回りに、中央ローン、工学部、大通、豊平橋）